

TOSHIN Hearing NEWS

2025年3月発行

きこえの合理的配慮に定番のワイヤレスマイクが驚きの進化！

聴覚機器及びワイヤレス通信機器の世界的リーディングカンパニーとして躍進を続けるソノヴァ社は、展開する補聴器ブランド「フォナック」より、簡単操作でよりよい聞こえをサポートする「ロジャー」シリーズのワイヤレスマイク4機種の新モデルを、2024年10月30日に発売しました。合理的配慮の提供義務化に伴い各企業の対応が迫られる中、同社のロジャーは聞こえのソリューションとして大きな注目を集めています。今回発表されたロジャーを代表するワイヤレスマイクの新モデル「ロジャー タッチ スクリーン マイク 3」、「ロジャー オン 3」、「ロジャー セレクト 3」、「ロジャー テーブルマイク 3」では、注目の新機能「ロジャー アンリミテッド」を筆頭に使いやすさが大幅に見直されました。このロジャー アンリミテッド機能により、ロジャーダイレクト機能を搭載の補聴器に受信機機能を簡単かつ無制限にセットアップすることが可能になることから、今後職場や学校などでさらに活躍の場が広がることが予想されます。各機種の特徴は下記のとおりです。（下記全機種「ロジャーアンリミテッド」機能を搭載しています）

教育現場で定番のワイヤレスマイク最新モデル - ロジャー タッチスクリーン マイク 3

- メニュー画面をリニューアル 頻繁に使う機能に簡単にアクセスが可能になるなど、メニュー画面のデザインがより一層使いやすくなりました。
- ミュート時のライト設定が変更可能に 教育現場の多様なニーズ寄り添い、インジケータライトの明度などが選択できるようになりました。

持ち運び便利で人気のワイヤレスマイク最新モデル - ロジャー オン 3

- 新機能「ワイドインタビューモード」従来のインタビューモードに比べより広い範囲を3次元的に集音。本体をテーブルの上に置いたり手に持って相手に向けるだけで前方にいる人の会話を届けるので、複数人が立って話し合うシーンや講演を聴講する場面で活躍します。
- 新機能「スマートミュート」本体をミュートにすると、ワイヤレス接続している補聴器が補聴器機能に自動で切り替わります。
- 傷に強い表面加工を新採用 ディスプレイに新たに採用されたコーティング加工により、持ち運び時の傷ダメージから守ります。

唯一の Bluetooth のロジャー送信機 ロジャーセレクト 3

- Bluetooth 搭載。タブレット、スマホと連携して外部マイクとしての利用や、ハンズフリー通話が可能。
- 卓上に置くことで 360°集音が可能。アプリ or 手動で集音方向（6方向）が選択可能に。

会議で活躍 ロジャーテーブルマイク 3

- リモコン付き。リモコンで音量調整と集音範囲の選択が可能。広域で最大 3m、狭域で最大 1.5m 可能
- ロジャー同士の接続で複数台の使用が可能。ロジャーセレクト等と互換性があり、2台同時使用が可能。会議でより役立ちます。

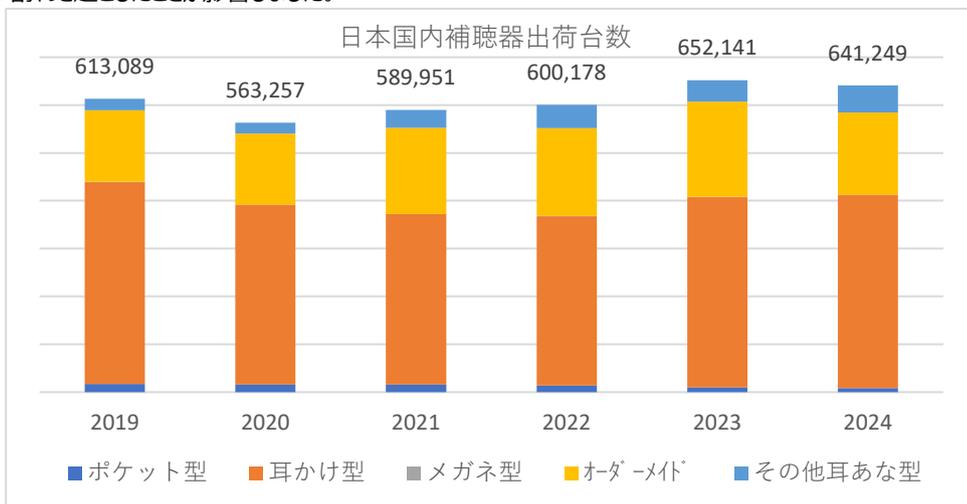


2024年(1月～12月) 国内補聴器出荷台数まとめ

一般社団法人 日本補聴器工業会による国内補聴器出荷台数が発表され、2024年10～12月期は同年で唯一前年越えの102.9%となりましたが、通期では10,892台減の641,249台となり前年比98.3%となりました。前年度はコロナ禍のリバウンドにより過去最高の出荷台数を記録しましたが、その反動で1～9月期が前年割れを起こしたことが影響しました。

目次

- 1 きこえの合理的配慮に定番のワイヤレスマイクが驚きの進化！
- 2 2024年(1月～12月) 国内補聴器出荷台数まとめ
- 3 リオンが「リオネット2シリーズ クオリエンス」を発売
- 4 補聴器普及率の向上と健康長寿社会の実現を目指す
「補聴器普及に向けた取組み」が
2024年度グッドデザイン賞を受賞



リオンが「リオネット2シリーズ クオリエンス」を発売

2023年8月21日に発売して以降、エンドユーザーから高い評価を得ているリオンの充電式補聴器「リオネット2シリーズ」に、新たにベーシックモデルが追加され2025年2月3日に発売されました。耳あな型オーダーメイド補聴器と耳かけ型補聴器（RIC）の2器種が用意されております。

「リオネット2シリーズ クオリエンス」の主な特長

1) リオネットの最新技術を結集したデジタル信号処理ユニット "リオネットエンジン2" を搭載

デジタル信号処理技術の向上により、音の再生帯域の拡大と細かな調整が可能となり、自然で豊かな音を実現されました。会話音声への影響が少ない衝撃音低減機能や、補聴器を装着する方の耳の形状や音響特性を測定してパーソナライズすることでピーピー音（ハウリング）を効率よく抑えることができるハウリングキャンセラーなど、各デジタル機能が従来のリオネット補聴器と比較し大きく進化しています。

2) 充電式を採用

充電式の採用により、電池切れの心配や電池交換の煩わしさが解消され、防水・防じんの国際保護等級IP68(最上位等級)の取得も実現しました。補聴器を充電ケースに置くだけで簡単に充電でき、就寝前に充電すれば、翌朝から一日中使用可能な^{※1}大容量バッテリーを搭載しています。

3) スマートフォンアプリで使いやすさを追求

無料のスマートフォンアプリ「スマートコントロール2」をお使いのスマートフォンにダウンロードすることにより、ボリューム調整やメモリー切替、ミュート機能のほか、補聴器の充電残量を1%刻みで確認することが可能です。また、補聴器を紛失した際には、補聴器の紛失推定地点を表示する機能を活用することで、探す手助けとなります。

4) ワイヤレス機能でより快適な聞こえを実現

スマートフォンやタブレットとつながることで、補聴器からスマートフォンやタブレットの音声は直接聞こえ^{※2}、よりクリアな音質で通話や音楽鑑賞、動画視聴を楽しむことができます。また、テレビにテレビアダプター（別売品）を接続することで、テレビの音声を補聴器から直接聞き取ることが可能になります。

※1 耳あな型オーダーメイド補聴器は2時間30分の充電で約28時間の連続使用が可能です。耳かけ型補聴器（RIC）は4時間の充電で約36時間の連続使用が可能です。ただし、使用時間は補聴器の使用状況や環境によって異なります。

※2 iOS14以降を搭載したiPhone、iPod touch および iPadOS14以降を搭載したiPadに対応しています。

Androidについては、補聴器のアップデートによりLE Audioに準拠したスマートフォン、タブレットに今後連携が可能となります。

補聴器普及率の向上と健康長寿社会の実現を目指す

「補聴器普及に向けた取組み」が2024年度グッドデザイン賞を受賞

リオンの「補聴器普及に向けた取組み」が2024年度グッドデザイン賞に選ばれました。公益財団法人日本デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞において、パナソニック株式会社とのアライアンスの締結により、両社の強みを活かし、AIなどを搭載した次世代補聴器「リオネット2」を開発したことに加え、簡易的に聞こえの状態を測定できるツールの活用や全国での聞こえセミナーの実施などを通じて、難聴を知る機会を創出し啓発活動を行ったことが評価されました。この次世代補聴器は、補聴器普及率の向上と健康長寿社会の実現を目指した取組みの一環から生まれています。両社の技術と知見を集約し、AI搭載の補聴器が騒音下でもクリアな音声を提供するなど、聞こえの質を飛躍的に向上させました。

また、耳かけ型と耳あな型の補聴器は、充電式で長時間の使用が可能となり、使いやすさにも配慮されています。LE Audio対応などの新機能により、公共施設での使用も視野に入れた設計となっており、ハードウェアとソフトウェアを融合したユーザーの生活を豊かにするデザインと機能が両立しています。補聴器市場に新たな価値をもたらし、社会的にも大きな意義を持つ共創プロジェクトとなっています。



GOOD DESIGN AWARD
2024年度受賞



TOSHIN Hearing NEWS 発行元

東神実業株式会社
トーシン補聴器センター

本社：〒550-0005 大阪市西区西本町2-4-7

TEL：06-6531-2541 FAX：06-6531-3398

URL：<https://www.toshin-ha.co.jp/>

be heard
Toshin